

**ダイバーシティや SDGs、地方活性化にご賛同いただける企業団体様募集中
昨年度に続き、帝京大学小学校とファミワンが共同で
「カラダとココロの包括的性教育プロジェクト」を実施**

「子どもを願うすべての人によりそい 幸せな人生を歩める社会をつくる」をビジョンに掲げ、法人の従業員向け福利厚生や自治体の住民向け支援を行うヘルスケアサポートサービス「ファミワン」<https://famione.com/benefit/>などを展開する株式会社ファミワン(本社:東京都渋谷区、代表取締役:石川勇介)は、帝京大学小学校(東京都多摩市、校長 石井 卓之)と共同で「カラダとココロの包括的性教育プロジェクト」として、昨年度に引き続き 2025 年度も生徒と保護者に向け包括的な性教育授業を提供いたします。



本プロジェクトは、小学 1 年生から 6 年生までの発達段階に合わせ、各学年ごとにカスタマイズした内容および伝え方で包括的性教育を実施する、全国的にも先進的な取り組みです。

体の発育・発達といった通常のカリキュラムに加え、性と生、ジェンダー、人間関係、プライバシーの尊重など、多様なテーマを網羅した包括的・継続的な性教育を提供し、子どもたちが多様性を理解し尊重し合える社会の実現に貢献することを目指します。

また、保護者に対しては、セミナーの開催に加えてオンラインでの相談サービスを提供し、家庭ごとのお悩みにも個別にサポートいたします。

性やジェンダーといったセンシティブかつプライベートな話題は、対面では相談しづらく、どこに相談すれば良いかわからないという声もよく聞きます。実装される当サービスは、オンラインで、匿名性を保ちながら、場所や時間を問わず安心して相談が可能です。看護師や臨床心理士公認心理士などの専門家への質問や相談を通して、知識の補完や子どもとのコミュニケーション方法などをサポートし、家庭における性教育への理解と実践を支援します。

■昨年度開催の様子

帝京大学小学校とファミワンの「カラダとココロの包括的性教育プロジェクト」が始まり、第一回目の 4 年生向けの授業を実施しました

帝京大学小学校とファミワンの「カラダとココロの包括的性教育プロジェクト」にて、保護者向け授業とブース展示を実施

■『カラダとココロの包括的性教育プロジェクト』概要

【目的】各学年の児童の発達段階に合わせ正しい知識を身につけることで、子どもたちが自分自身の体と心を大切に、健やかに成長できるよう支援する

【期間】2026年1月～2月

【対象】帝京大学小学校 1年生～6年生の全校児童、および保護者

【詳細】<https://project.famione.com/cse>

■協賛募集

本プロジェクトは、小学生に発達段階に応じた質の高い教育を提供し、子どもたちが自分の体と心を大切に、健やかに成長できるよう支援します。また、多様性を理解し、尊重し合える社会の実現に貢献します。

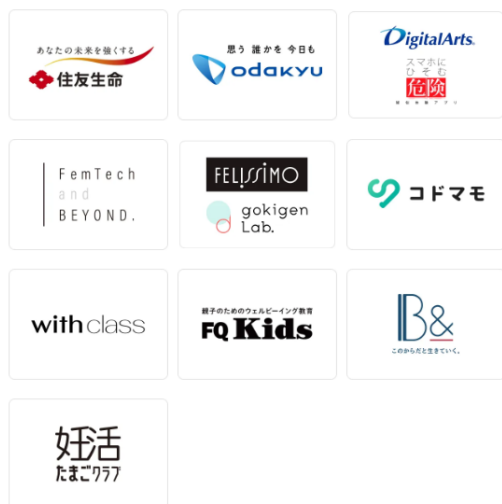
継続的なプロジェクト発展のため、賛同いただける企業・団体のご連絡をお待ちしております。性教育だけでなく、ダイバーシティやSDGs、地方活性化の観点からも連携を進めてまいります。

協賛お問い合わせフォーム：<https://form.run/@famione-teikyo2025>

■昨年の協賛・後援・パートナーの紹介

昨年の協賛・後援・パートナー

※五十音順



全企業からのメッセージは[こちら](#)。

■帝京大学小学校からのコメント



校長、帝京大学大学院准教授
石井 卓之

性に関する教育の重要性は認識していても、具体的な取り組みが進んでいない現状があります。この課題解決には、学校や家庭だけでなく、専門家と連携したより幅広い取り組みが重要だと考え、動き出して2年目となりました。



帝京大学小学校
養護教諭 松田亜弓

日頃、子どもたちと過ごす中で、性について興味や関心を持つ姿を見かけます。しかし、まだ正しい知識や考え方が十分に身につけていないこともあります。本授業では、専門家の視点を基に同学年の子どもたちが一緒に考え、学びを深めていきます。相手を思いやる関わり方や、自分らしさを大切にする生き方について考えるきっかけになってほしいと思います。

■帝京大学小学校について

『「自分流」で培う人間力』を教育理念に掲げ、自ら問題意識を持ち、考え、判断し、行動し、その結果に責任をもつ、「生き抜く力」を育てます。

帝京大学グループの建学の精神、「努力をすべての基とし偏見を排し 幅広い知識を身につけ 国際的視野に立って判断ができ 実学を通して創造力および人間味豊かな 専門性ある人材の養成を目的とする」に則り、「知・情・意・体」のバランスのとれた児童の育成を目指します。



帝京大学小学校: <https://teikyo-sho.ed.jp/>

■福利厚生サービス「ファミワン」の概要

組織全体の風土づくり × 当事者の個別サポートの2軸でご支援

福利厚生サービス「ファミワン」は、「専門家によるセミナー/研修を通じての従業員のリテラシー向上や社内風土の醸成」、そして「オンライン健康相談による従業員個々のサポート」の両側面から、企業の健康経営や両立支援の促進、女性活躍推進を支援します。

「ファミワン」導入企業の社員/従業員は、オンライン上で時間や場所を選ばず、社外の看護師や心理士、キャリアカウンセラーなどの有資格者に多様なテーマについての相談が可能です。匿名でかつ内容を会社に知られずに相談できる環境を提供することで、心理的安全性を高めるとともに従業員満足度の向上が期待できます。さらに、早期に悩みを相談し自身の身体や心の状態に気づくことで、行動変容を促し、不調を未然に防ぐ効果も期待できます。

また、全従業員を対象に、プロフェッショナル講師陣によるセミナー/研修を提供し、会社全体のリテラシーを高めます。特に女性特有の健康課題に対しては、約7割の女性従業員が上司・周囲の理解を望んでいます*1。管理職や支える側の従業員など、当事者以外へ正しい知識を提供し、理解を促すことで支援の幅の拡大に貢献します。セミナー/研修のテーマは、各社のニーズや課題感に応じてカスタマイズ*2が可能です。

2018年9月より、法人向け福利厚生プログラムの提供を開始。小田急電鉄やTBS厚生会などへの福利厚生導入に加えて、ソニー、全日本空輸株式会社(ANA)、伊藤忠労働組合などへもセミナーを提供しています。自治体への提供としても、神奈川県横須賀市をはじめ、長崎県、東京都杉並区、世田谷区、広島県三原市、群馬県邑楽町など、都道府県単位から中核都市、そして数万人規模の市区町村まで幅広く提供を行っております。

※本サービスは医療行為ではないため、診断や処方はいりません。

*1 出所:働く女性のウェルネス向上委員会 HP より(東京都実施,2023-5,都内で働く女性3500人+企業担当者200人へのアンケート調査結果)

*2 不妊治療の基礎知識、卵子凍結などプレコンセプションケアの啓発、月経・PMS、更年期などの健康課題、ライフプランや人間関係、メンタルケアまで多彩なテーマに対応

専門家が妊活・不妊治療をフルサポート

全国で専門家[※]50名がサポート

不妊症看護認定看護師・臨床心理士・胚培養士・管理栄養士・
保健師・薬剤師・キャリアカウンセラー・助産師など

※2024年3月現在

famione

<会社情報>

株式会社ファミワン

所在地 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1丁目10番8号渋谷道玄坂東急ビル2F-C

代表者 代表取締役 石川 勇介

設立日 2015年6月1日

URL <https://famione.co.jp/>

▶ファミワン 法人向け福利厚生サービス <https://famione.com/benefit>

▶自治体向け「妊活 LINE サポート事業」 <https://famione.com/local/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ファミワン 広報担当 Mail: info@famione.com TEL: 080-2243-6995